

我孫子市消費者の会

お知らせ

2011年4月20日 第37期 No. 1-418号

事務局 〒270-1143 我孫子市天王台3-7-1-201 和田三千代方 TEL 04-7183-1434

<http://www.abikoshi-syuhisyanokai.com/>

新緑の季節を迎えました。我孫子市消費者の会は37期目に入りました。最初から入会された方は何人でしょうか。発足総会で、安田久子さんが、消費生活相談員としてご挨拶くださったのを私は覚えています。諸事情により遅れましたが、会員112名の消費者の会37期総会を下記の通り開きます。是非ご参加ください。やむをえず欠席の方は委任状をお近くの役員、または運営委員までお届け下さい。

総会のお知らせ

5月30日(月) 13:00~16:00

我孫子南近隣センター・ホール

前年度活動報告や決算報告、今年度の活動計画と予算について審議していただきます。時間をお間違いなく。

記念講演として14:00から、会員になられた川上千里さんによる「スライドショー《昭和の子ども》写真を通して時代を知り、命を考える」を行います。これは広報5月16日号に載せて一般公開します。川上さんからのメッセージを下記に記します。

写真で見る昭和の子ども

最近戦前の貴重な体験を聞くことが段々出来なくなってきました。子どもを中心にしたスライド約100枚で昭和を紹介します。昭和を生きてきた世代は沢山の知恵や経験を身につけています。食糧難で辛い思いをしたこと、学童疎開で悲しかったことも懐かしい思い出になっていて、次の世代の人達が生きるために参考になることも沢山あります。

若い人達のために、今こそ昭和世代は過去の体験を語り継ぐべきです。昔の子どもの写真を見ながら、語り継ぐべき事柄を思い出してくだ

さい。

なるべく子どもや親など若い世代に見て欲しいのです。中高年の方は思い出を語り継ぐきっかけに、子育て中の方には知らない歴史として聞いていただきたいと思います。

取りあえず北茨木市に義援金を

先月号でこの地震になにか支援をとお考えの方は、お金が一番の支援になります、と書きました。3月28日の定例会で皆さんに話したところ、我孫子市民のごみの最終処分をしていただいている北茨城市に送ろうと言うことになり、皆様にいただいたカンパを下記の手紙を添えて送りました。今回の被災復旧には長い年月がかかります。これからもご賛同くださる方は消費者の会でまとめて送りたいと思いますので、ご協力をお願いします。

北茨城市長 豊田稔 様

この度の東日本大震災及び原発事故による御市の大きな被災に対し心からお見舞い申し上げます。

私たち我孫子市消費者の会の会員は、常日頃から御市に対して感謝の心を持ってまいりました。(廃棄物の最終処分を御市にお願いしていますので)

今回のことをホームページで見て大変心配しておりました。定例会で会員に話しましたところ、被災者の救援に使っていただきたいと、誠に僅かながら、10万円がカンパとして集まりました。また市内の方で私に託して下さった方の5万円を加えました。

別途、常陽銀行から我孫子市消費者の会の名前で振込をいたします。(領収書不要)

被災された方々が一日も早く平穏な生活を取

り戻されることを願い、御市のご復興を心からお祈り申し上げます。

平成23年4月4日

我孫子市消費者の会

5月の定例会を開きます

5月2日(月) 13:30~16:00

我孫子南近隣センター 8F調理室

大震災の影響で近隣センター等の使用が認められなかったこともあり、変則的な会が続きます。3月の終わりに「まどか」をお借りして開きましたので、4月定例会を中止しました。5月は総会準備の会として開きます。ご出席ください。

この時、ゴーヤの苗を配布します。申し込まれた方はこの時間内に引き取りにおいでください。6月の定例会は5月30日の総会終了後に繰り上げて開きます。ご了承ください。

今年こそ緑のカーテンを

福島原発事故は現在のところ終息の見通しが立たず、毎日のニュースに不安は募るばかりです。特に、本当のことがどこまで報道されているのか?という不信感は拭えませんが、その中でも少しでもやれることをやって行きましょう。

消費者の会では地球温暖化防止の一助になればと、緑のカーテンの推奨、バイオエタノールの勉強(見学会)等を行ってきました。この事故が起こる前に、ゴーヤの苗を無償で配ることも決めていました。

夏のエアコン使用時に電力のピークを迎え、また計画停電があるかも知れないと言われていきます。緑のカーテンと、保冷剤を首に巻いて身体を冷やす等、今年は知恵が必要です。

この夏を乗り切れば、原発に頼らない生活が夢ではないと実証出来るでしょう。エアコンが各家庭に普及したのは何年ぐらい前でしょうか。根本的な生活の見直しが今こそ必要ですね。

千葉県消費者フォーラムの予告

6月13日(月) 12:30~15:30

千葉市民センター・ホール

「暮らし一番の千葉へ～高齢社会の安全・安心をめざして」

事例発表3団体のうち、我孫子市消費者の会副会長栗原洋子さんが、「地域での見守りをどう

つくる」として、報告をする予定です。

基調講演は流通経済大学教授・大橋純一氏。

詳細は来月の「お知らせ」に書きますが、それぞれの予定に入れておいてください。申込みは消費者の会でまとめてします。参加希望は5月15日までに和田へ。千葉までの交通費は会で負担します。

市民活動フェア予告

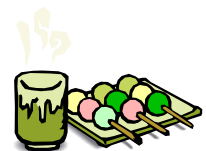
6月18日(土) 19日(日) アビスタ

企画が発表されるのはこれからですが、我孫子市消費者の会が参加している「まちづくり分科会」として、悪質商法にかからないための寸劇をします。分科会メンバーも出演しますが、消費者の会の協力も必要です。よろしく。

このことが市民活動ネットワークの会報に取り上げられます。近隣センター等にあればご覧ください。

農業への打撃

消費者の会が参加している「NPO法人・日本生態系農業協会」で有機JASの認定を受けている方の中に、大震災と原発事故の二重苦を受けられた双葉町、浪江町、いわき市、南相馬市の方々があります。当分の間(何年?何十年?)その地で有機農業はできません。千葉県に農地を探している方もいます。マスコミも国も、風評被害と言いますが、本質のところでは悩んでいる当事者の胸中はいかばかりかと、こちらの胸も苦しくなります。



・・・キリトリ・・・

委任状

我孫子市消費者の会第37期総会の決議に関する権限を

さんに委任します。

を納入します

氏名

住所